

IBM Digital Analytics Export



目次

IBM Digital Analytics Export.....	1
Export の概要.....	1
ソリューションの説明.....	1
主要機能.....	1
ソリューションの追加資料.....	1
システム要件.....	1
アプリケーション使用の要件.....	1
アプリケーションのプロビジョニング.....	2
ユーザーの管理.....	2
アプリケーション・アクセス.....	2
Export の使用.....	2
アプリケーションの概要.....	2
「統合」メニュー.....	3
「管理」メニュー.....	11
IBM Digital Analytics デジタル・データ・フィード.....	13
Export のよくある質問.....	21
その他の連絡先情報.....	22
サポート.....	24
特記事項.....	24
商標.....	26
製品資料に関するご使用条件.....	26
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項.....	27

IBM Digital Analytics Export

IBM® Digital Analytics Export の資料をご利用いただき、ありがとうございます。この資料には、Export を構築して使用方法に関する情報が記載されています。

Export の概要

Export は、IBM Digital Analytics 継続最適化プラットフォームの 1 つのコンポーネントとして、クライアントが定義した多様な SFTP ターゲット・ロケーションに対するカスタム・データ・エクスポートを定義するために使用できます。

ソリューションの説明

Export は、訪問者の詳細な行動データを抽出するために使用します。このデータは、サード・パーティーに送信したり、分析に使用したり、あるいは Digital Analytics アプリケーション・スイート以外のマーケティング・アクティビティーで使用したりすることができます。

主要機能

Export を使用すると、先進的なカスタム・セグメントおよびエクスポートを、それぞれの必要性に基づいて作成できます。

詳細なセグメンテーション

Export のセグメンテーション機能は、カスタム訪問者の Export セグメントを定義するための複数のオプションを提供します。さらに厳密なデータ抽出を行う場合には、Export 内で作成されるセグメントにアクティビティー属性フィルターを適用できます。

柔軟な Export フォーマット

訪問者プロフィール・ベースのデータのエクスポートまたは訪問者アクティビティー・レコードのエクスポートを、それぞれの組織の必要性、または協力して作業するサード・パーティー・プロバイダーの必要性に基づいて作成します。

ソリューションの追加資料

このユーザー・ガイドに加えて、最新リリースに固有の「リリース・ノート」をサポート・サイト (<http://support.coremetrics.com/>) からご利用いただけます (「**Release Notes**」で検索してください)。

システム要件

IBM Digital Analytics 製品を実行するには、特定のバージョンのソフトウェアとブラウザを実行し、必要最低限のメモリー容量を確保している必要があります。

以下のシステム要件を維持してください。

- ソフトウェア: Adobe Flash Player V10 または V11
- ブラウザー: Microsoft Internet Explorer V9 以降、Mozilla Firefox V29 以降、Chrome V34 以降
- メモリー: 1 GB 以上の RAM

アプリケーション使用の要件

Export は、アプリケーションの使用許諾を必要とするすべての Digital Analytics クライアントで使用可能です。目標を絞った訪問者アクティビティーのエクスポートを任意の有効なターゲットに送信することができます。

注: 送信する必要のある Export データ・フィードの特質についてすべてのサード・パーティーの受信側と連絡を取り合ってください。こうした連絡によって、データ・フィードが受信側のシステムで正しく動作するようにします。

アプリケーションのプロビジョニング

組織が Digital Analytics に関して Export ライセンス契約を締結した場合、Digital Analytics Provisioning Services により、ライセンス契約に記載されているクライアント ID に対して Export が使用可能になります。

デフォルトでは、管理者ユーザー・グループのメンバーであるユーザー・アカウントのみが Export アプリケーションを使用できます。その他のグループのユーザー・アカウントが Export にアクセスする必要がある場合は、お客様は、その他のユーザー・グループに対してアプリケーションを使用できるようにする必要があります。

ユーザーの管理

管理アクションは、組織から指名された管理者が行うように予約されています。これらのアクションは、アプリケーション・ヘッダーにある「アドミン」リンクを通じてアクセス可能な「アドミン」コンソールを使用して実行します。

このタスクについて

追加のユーザー・グループで Export を使用できるようにするには、お客様の組織の管理者は、該当するクライアント ID で IBM Digital Analytics にログインし、以下のステップを実行する必要があります。

手順

1. メニュー・バーの「アドミン」にナビゲートします。
2. 左のナビゲーション・パネルにある「グループを管理」をクリックします。
3. 編集するユーザー・グループを選択するか、新規ユーザー・グループを作成します。
4. 「Export」チェック・ボックスをクリックしてユーザー・グループの Export を有効にします。加えて、「デジタル・データ・フィード」を選択して、IBM Digital Analytics Digital Data Feed 機能を有効にする必要があります。

アプリケーション・アクセス

Export には、他の IBM Digital Analytics アプリケーションまたは Export ウェルカム・ページからアクセスできます。

Export にアクセスするには、Digital Analytics にログインし、グローバル・ナビゲーション・メニューから「Export」オプションを選択します。

Export の使用

Export は Digital Analytics 継続最適化プラットフォームの一部です。Export を使用すれば、お客様の内部システムで Digital Analytics によって収集したデータや、その他のサード・パーティーのデータおよびマーケティング・ソリューションなどの利用範囲を簡単に広げることができます。

アプリケーションの概要

Export は、特定顧客のセグメントとそれらの個々のセグメントに対応するサイト・アクティビティーで構成される、お客様定義のデータ抽出ファイルを送信します。これらのデータ抽出ファイルは、任意の外部 SFTP ターゲットに配信して、Digital Analytics ソリューション・セットの外部で実行されるさらに詳細な分析とマーケティング・アクティビティーに使用することができます。

Export のユーザー・インターフェースは、2つのメニューに分割されています。

1. 「統合」メニュー
 - Digital Analytics データウェアハウスから抽出されるデータ・エクスポート・ファイルを構成して、スケジュールに基づいて定期的にサード・パーティー・パートナーに配信されるようにすることができます。
 - ご自分の組織のサイト・アクティビティー・データに対して、おおよびどのサード・パーティーの誰とデータを共有するかに関して、常に完全に管理します。

「統合」メニューでは、分析目的またはマーケティング目的のために、サイト訪問者データを共有したい組織および共有したい特定タイプのデータを制御します。直観的なドラッグ・アンド・ドロップ・インターフェースにより、内部システムへのデータ・フィードや選択したサード・パーティー・パートナーとの間のデータ・フィードを簡単に実行できます。エクスポート・フィードのフォーマット・タイプとエクスポート・ファイルに含めるデータを選択してください。次に、1回限りのエクスポートまたは繰り返しエクスポートのいずれかが、選択した SFTP ターゲットに送信されるようにスケジュールを設定します。Export を使用すると、大量の詳細な訪問者アクティビティー・レコードをまとめてエクスポート・ファイルで送信することができ、また顧客 ID 値のリストのような少量の情報を送信することもできます。

2. 「管理」メニュー

- 多様なエクスポート・ジョブの定義に使用する作成済みのセグメントを表示します。
- 多様な Export ジョブの状況を表示します。
- 多様なデータ・シンジケーションのエクスポートおよびインポートの宛先を管理できます。

「管理」メニューでは、データ・エクスポートの現在の状態を確認でき、さらにマーケティング活動で使用するために Export で定義されているすべてのセグメントを確認できます。また、エクスポート用の新規ターゲット宛先をセットアップすることもできます。

「統合」メニュー

Export の「統合」メニューには 4 種類のファイル・フォーマットが用意されており、スケジュールを設定して内部またはサード・パーティーのプロバイダーに送信するデータ・フィードを定義する際に、これらの 4 種類から選択できます。

1. アクティビティー・レコード・フィード
2. 顧客レコード・フィード
3. デジタル・データ・フィード
4. 検索データ・フィード

アクティビティー・レコード・フィード

Export アクティビティー・レコード・フィードは、サポートされる訪問者サイト・アクティビティーを 1 つ以上組み込んで構成することができ、日次処理としてエクスポートを送信します。

サポートされる訪問者サイト・アクティビティーは以下のとおりです。

- 参照されたプロダクト
- 購入されたプロダクト
- 放棄されたプロダクト
- ショッピング・カートに入ったプロダクト
- サイト内検索
- ページ・ビュー
- コンバージョン・イベント開始
- コンバージョン・イベント完了

Export アクティビティー・レコード・フィードでは、エクスポート内の各行が、ユニーク訪問者とアクティビティーの組み合わせに対応するように配置されます。例えば、訪問者が 5 つのページを参照した場合、Export アクティビティー・レコード・フィードがページ・ビュー・アクティビティーを含むように構成されていると、5 行がエクスポート・ファイルに含まれます。それぞれの行は、訪問者が表示したページに対応します。その他の関連情報もファイルに組み込まれます。

エクスポート・キー

サポートされている 3 つのキー列の 1 つを選択して、アクティビティー・レコード・フィードに使用できます。エクスポートでは、エクスポート・ファイルに組み込むキー列として、Cookie ID、Cookie ID | 訪問 ID、または登録 ID を使用できます。

アクティビティーの種類

エクスポートの行ごとに含まれるアクティビティーのタイプを表す数値 ID は、以下のとおりです。

- 0 参照されたプロダクト
- 1 購入されたプロダクト
- 2 放棄されたプロダクト
- 3 ショッピング・カートに入ったプロダクト
- 4
- 5 サイト内検索
- 6 ページ・ビュー
- 7
- 8 コンバージョン・イベント開始
- 9
- 10 コンバージョン・イベント完了

カテゴリー ID

特定のアクティビティに関連するカテゴリーの ID。例えば、ページ・ビュー・レコードは、表示されたそれぞれのページが所属するカテゴリー ID を提供します。

プロダクト ID

追跡対象のアクティビティに関連した個別アイテムの ID。例えば、プロダクト ID は入力されたサイト内検索用語の場合もあり、開始されたコンバージョン・イベントの場合もあります。

アクティビティ時刻

アクティビティが実行された訪問を訪問者が開始した時刻

アクティビティの金額

アクティビティがプロダクトまたはコンバージョン・イベントに関連している場合、このアクティビティの金額には、カートに入れられたプロダクト、購入済みのプロダクト、イベント・ポイントなどの価格が含まれます。

アクティビティ・レコード・フィードを作成するには、「**アクティビティ・レコード・フィード**」アイコンを Export の「統合」フレームにドラッグ・アンド・ドロップします。これでユーザー・インターフェースが更新されて、Export データ・フィードを定義する 3 段階のステップから成る構成画面が表示されます。

「**アクティビティ**」タブで、エクスポートに使用するキーと、組み込みたい特定のアクティビティの種類を選択します。フィードに組み込むアクティビティは必要なだけいくつでも選択できます。該当のアクティビティの横にあるチェック・ボックスをクリックしてください。

これで、ターゲットを絞った実行予定キャンペーンのサイト訪問者のサブセットのみに関する、アクティビティ・レコード・フィードを構成できます。訪問者セグメント定義をフィードに適用するのはオプションです。Export で使用する新規セグメントを作成するには、「**セグメント**」タブに移動して「**新規**」をクリックします。

注: Export セグメントは事実上は単一の訪問です。Export セグメントを組み込むためには、訪問者が単一のサイト訪問でセグメント条件のすべてを満たしている必要があります。

1. 新規セグメントを割り当てる既存のカテゴリーを選択するか、または新規カテゴリーを作成します。
2. セグメントの名前を指定します。
3. 条件を選択し、それらの条件を重ね合わせてセグメントを定義します。次の例では、エンゲージメント・レベルの高い Google 課金検索者のセグメントを作成しました。セグメント条件は訪問者の訪問で構成され、マーケティング・プログラムは「Google」です。訪問には少なくとも 5 つのページ・ビューが含まれ、その所要時間は少なくとも 500 秒間です。

Export セグメントを作成する場合、1 つの条件 (例: ページにスポーツ用品を含む) を選択することも、複数の条件を重ね合わせることもできます (例: マーケティング・ベンダーに「Google」または「Yahoo」を含み、かつ、プロダクト名に「ナイキ」または「リーボック」を含む)。

既存のセグメントの編集または削除

既存のセグメントを編集するには、「使用可能なセグメント」リストから編集するセグメントを選択して、「編集」をクリックします。

既存のセグメントを削除するには、「削除」をクリックします。

注: エクスポートに適用されている既存のセグメントを編集または削除しようとすると、警告が表示されます。これは、その定義を変更あるいは削除するとフィードの出力に影響が出るためです。

Export のベスト・プラクティス・プログラム・エクスポートを記述するには、「名前とその他の詳細」タブをクリックして、その他の必要な情報を指定します。以下のエクスポート情報を指定してください。

フィード名 (必須)

エクスポートに付ける適切な名前。

説明 (オプション)

エクスポートの簡単な説明。

E メール通知リスト (必須)

エクスポートの日次処理の状況に関する通知を受け取る個人の E メール・アドレス。

SFTP ターゲット (必須)

Digital Analytics が Export フィードを送信する宛先のファイル・サーバー。「SFTP ターゲット」ドロップダウン・メニューには、組織内でユーザーがそれ以前に作成したすべてのターゲットが表示されます。エクスポートの送信先がまだ指定されていないロケーションである場合には、「作成」をクリックします。Export ファイルを正常に転送するために Digital Analytics によって必要とされる SFTP 情報を入力します。

頻度 (必須)

アクティビティー・レコード・フィードは、毎日繰り返すエクスポートです。ただし、1 日のみのサイト・アクティビティーに対して 1 回限りのエクスポート・ベースのテストを実行できます。毎日処理するように Export フィードをスケジュールする前に、このフィードを確認することが可能です。

フィールド間区切り文字 (必須)

推奨されるフィールド間区切り文字はコンマですが、必要に応じて、タブ文字またはパイプ (垂直バー |) 文字を使用するようにエクスポート・ファイルを構成することもできます。

フィールド内区切り文字 (必須)

フィールド間区切り文字としてコンマが使用されるときに推奨されるフィールド内区切り文字は、パイプ (垂直バー |) 文字です。この代わりに別の文字を使用するようにエクスポート・ファイルを構成することもできます。フィールド間区切り文字とフィールド内区切り文字の両方に同じ文字を使用することはできません。

ファイル拡張子 (必須)

指定するフィールド間区切り文字に関係なく、Export のエクスポートで使用されるデフォルトの拡張子は .CSV です。しかし必要な場合には、Export ファイルの拡張子を .CSV でなく .TXT に変更できます。

注: Export のエクスポートに適用されるファイル拡張子は、指定するフィールド間区切り文字の選択には影響されません。例えば、区切り文字としてはコンマ文字の使用を選択しても、エクスポートではファイル拡張子 .TXT を使用することができます。Export のエクスポート・ファイルを Microsoft Excel で表示して確認する場合、Excel でのフォーマット設定はファイルの種類に結び付けて想定されます。ファイルの種類は拡張子によって識別されます (例えば、.csv ならフィールド区切り文字としてコンマを使用すると想定されます)。

ヘッダーを含める (オプション)

エクスポートの各フィールドの名前が含まれたレコードを Export ファイルに組み込むには、「ヘッダーを含める」チェック・ボックスを選択します。

必須構成情報をすべて指定したら、「サブミット」をクリックして、Export フィードの日次処理をアクティブにします。エクスポートの最初のインスタンスは、日次処理をアクティブにした日の翌日に送信されます。フィードをサブミットすると、そのフィードは「統合」画面で Digital Analytics フッターに組み込まれて表示されます。フィードは、ダブルクリックするといつでも編集できます。

顧客レコード・フィールド

Export 顧客レコード・フィールドは、毎日または毎週定期的に処理できるエクスポートを配信します。エクスポートは、任意の数の訪問者サイト・アクティビティ、顧客属性、および訪問属性を含むように構成します。

Export 顧客レコード・フィールドでは、エクスポート内の各行が、エクスポート時間フレームのユニーク訪問者のすべての構成済みデータが表示されるように配置されます。同じ種類の複数のアクティビティは連結されて、そのユニーク訪問者に関する行の単一フィールドに含まれます。その単一フィールド内では、複数のアクティビティ値はフィールド内区切り文字によって分離されます。

顧客レコード・フィールドを作成するには、「顧客レコード・フィールド」アイコンを Export の「統合」フレームにドラッグ・アンド・ドロップします。これでユーザー・インターフェースが更新され、Export ジョブを定義する 3 つのステップから成る構成画面が表示されます。

1. 「フィールド」タブで、エクスポートに使用するキーと組み込みたい特定のデータ・フィールドを選択します。Cookie ID、Cookie ID | 訪問 ID、および登録 ID の 3 つのオプションがあります。

エクスポート・ファイルに組み込む、各サイト訪問者のデータ・フィールドを選択します。利用可能なデータ・フィールドは、すべて以下のカテゴリーにグループ化されます。すべての Digital Analytics 業界別パーティカル・デプロイメントにすべてのカテゴリーを使用できるわけではありません。

- コンテンツ (例: ページ、イベント、リアル・エステート、サイト・プロモーションに関連するフィールド)
- マーチャンダイジング/プロダクト (例: プロダクト・ビュー、ショッピング、注文に関連するフィールド)
- 登録 (例: 登録情報に関連する性別、所得のフィールド)
- トップ・ライン (合計イベント・ポイント、注文アイテム数などの、サマリー指標)
- テクニカル・プロパティ (例: ブラウザーの種類、言語、接続速度などの訪問者のシステム情報)
- 地域 (例: 登録されていないイベントからのロケーション情報)
- マーケティング (例: マーケティング・プログラム、宛先 URL、参照元 URL)

フィールドをエクスポートに組み込むには、「使用可能なフィールド」リストから「選択したフィールド」リストに該当のフィールドをドラッグします。

事前に選択したフィールドを削除するには、「選択したフィールド」リストから「使用可能なフィールド」リストにそのフィールドをドラッグして戻します。どちらかのリスト内のフィールドをダブルクリックすることによってフィールドの選択および削除をすることもできます。1 つの顧客レコード・フィールドには最大 15 の異なるデータ・フィールドを組み込むことができます。

基本の Export 顧客レコード・フィールド・ファイルに加えて、2 つの追加補助ファイルを追加することを選択します。これらのファイルを追加するには、「フィールド」ページの下部にある対応するチェック・ボックスを選択します。「プロダクト名のマッピング」ファイルと「カテゴリー定義」ファイルによって、エクスポートでプロダクトまたはページ ID レベルのフィールドをエクスポートする場合に、適切なカテゴリー情報を確実に指定できるようになります。

2. エクスポート・ファイルにはセグメンテーション・ロジックを適用できます。セグメント条件の適用はオプションです。Export で使用する新規セグメントを作成するには、「セグメント」タブに移動して「新規」をクリックします。Export でセグメントを作成した場合には、「カテゴリー」ドロップダウン・メニューから各種のセグメント・カテゴリーを選択することによって、既存のセグメントの間をナビゲートできます。選択したカテゴリーに含まれるすべてのセグメントが「使用可能なセグメント」フレームに表示されるので、「選択したセグメント」フレームにドラッグ・アンド・ドロップして選択できます。

このタブから既存のセグメントを編集または削除することもできます。「使用可能なセグメント」フレームで該当のセグメントを選択し、対応するボタンをクリックしてください。組織の現行の Export エクスポートのいずれかに適用されている既存のセグメントを削除または変更しようとすると、警告が表示されます。

3. Export のベスト・プラクティス・プログラム・エクスポートを記述するには、「名前とその他の詳細」タブをクリックして、その他の必要な情報を指定します。以下のエクスポート情報を指定してください。

フィールド名(必須)

エクスポートに付ける適切な名前。

説明(オプション)

エクスポートの簡単な説明。

E メール通知リスト(必須)

Export エクスポートの日次処理の状況に関する通知を受け取る個人の E メール・アドレス。

SFTP ターゲット(必須)

Digital Analytics が Export フィールドを送信する宛先のファイル・サーバー。「**SFTP ターゲット**」ドロップダウン・メニューには、組織内でユーザーがそれ以前に作成したすべてのターゲットが表示されます。Export ファイルの送信先がまだ指定されていないロケーションである場合には、「**作成**」をクリックします。Export ファイルを正常に転送するために Digital Analytics によって必要とされる SFTP 情報を入力します。

頻度(必須)

顧客レコード・フィールドをスケジュールに入れて、日次ベースまたは週次ベースで実行することができます。また、Export フィールドをスケジュールする前にこのフィールドを検討する必要がある場合には、1 日のみのサイト・アクティビティで 1 回限りのテストをエクスポート・ベースで実行することもできます。

フィールド間区切り文字(必須)

推奨されるフィールド間区切り文字はコンマですが、代わりにタブ文字またはパイプ(垂直バー |) 文字を使用するようにエクスポート・ファイルを作成することもできます。

フィールド内区切り文字(必須)

フィールド間区切り文字としてのコンマと共に使用するよう推奨されるフィールド内ファイル区切り文字は、パイプ(垂直バー |) 文字です。エクスポート・ファイルを作成して別の文字を指定することもできます。フィールド間区切り文字とフィールド内区切り文字の両方に同じ文字を使用することはできません。

ファイル拡張子(必須)

指定したフィールド間区切り文字に関係なく、Export エクスポートのデフォルトの拡張子は .csv 拡張子です。Export ファイルの拡張子は .csv の代わりに .txt に変更できます。

注: Export のエクスポートに適用されるファイル拡張子は、指定したフィールド間区切り文字の選択には影響されません。例えば、区切り文字としてコンマを使用しても、エクスポートではファイル拡張子として .txt を使用できます。Export のエクスポート・ファイルを Microsoft Excel で表示して確認する場合、Excel でのフォーマット設定はファイルの種類に結び付けて想定されます。ファイルの種類は拡張子によって識別されます(例えば、.csv ならフィールド区切り文字としてコンマを使用すると想定されます)。

ヘッダーを含める(オプション)

エクスポートの各フィールドの名前が含まれたレコードを Export ファイルに組み込むには、「**ヘッダーを含める**」チェック・ボックスを選択します。

必要な構成情報をすべて指定したら、「**サブミット**」をクリックして、Export フィールドの日次処理をアクティブにします。エクスポートの最初のインスタンスは、日次処理をアクティブにした日の翌日に送信されます。日次処理をアクティブにすると、新規作成された Export フィールドは「**統合**」画面で Digital Analytics フッターに組み込まれます。フィールドは、ダブルクリックするといつでも編集できます。

デジタル・データ・フィールド

デジタル・データ・フィールドとともにエクスポート・ファイルに含めるデータ・ファイルを選択できます。

1. 「**ファイル**」タブで、エクスポート・ファイルに組み込むデータ・ファイルを選択します。以下に、選択可能なファイルをバーティカル別に示します。

小売、コンテンツ、コマース	金融	旅行
カート・アイテム放棄	申し込みの放棄	アイテムの放棄
カート・アイテム追加	申し込みの追加	開始アイテム

カート・アイテム購入	申し込みの完了	予約アイテム
コンバージョン・イベント	コンバージョン・イベント	コンバージョン・イベント
エレメント	エレメント	エレメント
地域	地域	地域
マーケティング・チャンネル	マーケティング・チャンネル	マーケティング・チャンネル
MMC クリック	MMC クリック	MMC クリック
MMC インプレッション	MMC インプレッション	MMC インプレッション
注文	申し込み	予約
ページ・ビュー	ページ・ビュー	ページ・ビュー
プロダクト・ビュー	申し込みビュー	アイテム・ビュー
リアル・エステート・クリック	リアル・エステート・クリック	リアル・エステート・クリック
登録	申込者	予約者
訪問の最初のページ・ビュー	訪問の最初のページ・ビュー	訪問の最初のページ・ビュー
サイト・プロモーション・クリック	サイト・プロモーション・クリック	サイト・プロモーション・クリック
テクニカル・プロパティ	テクニカル・プロパティ	テクニカル・プロパティ

ファイルをエクスポートに組み込むには、「**選択可能なファイル**」リストから「**選択したファイル**」リストにファイルをドラッグします。

以前に選択したファイルを削除するには、「**選択したファイル**」リストから「**選択可能なファイル**」リストにそのファイルをドラッグして戻します。いずれかのリスト内のファイルをダブルクリックすることによって、ファイルの選択および削除を行うこともできます。

2. Digital Data Feed のエクスポートを記述し構成するには、「**名前とその他の詳細**」タブをクリックして、その他の必要な情報を指定します。以下の情報を提供してください。

フィード名

クライアント ID およびエクスポートに組み込まれたデータに対応する日付を使用して作成された、デジタル・データ・フィードの固有 ID。

E メール通知リスト (必須)

Digital Data Feed エクスポートの日次処理の状況に関する通知を受け取る個人の E メール・アドレス。

SFTP ターゲット (必須)

IBM Digital Analytics Export が Export フィードを送信する宛先のファイル・サーバー。「**SFTP ターゲット**」ドロップダウン・メニューには、組織内でユーザーがそれ以前に作成したすべてのターゲットが表示されます。Export ファイルの送信先がまだ指定されていないロケーションである場合には、「**作成**」をクリックします。Export ファイルを正常に転送するために IBM Digital Analytics Export によって必要とされる SFTP 情報を入力します。

頻度

デジタル・データ・フィードは毎日実行されます。

ヘッダーを含める (オプション)

エクスポートにおける各フィールドの名前が含まれるレコードを Export ファイルに含める場合には、「**ヘッダーを含める**」チェック・ボックスを選択します。

個々のファイルの圧縮

ファイルを圧縮して .zip ファイルを作成する場合に選択します。

マーケティング・チャンネル

まとめて追跡する類似ベンダーのグループ。

フィールド位置	データ	説明	形式
1	VENDOR_CODE	タグ内の MMC パラメーターで渡されるベンダー。	String(256)
2	CHANNEL_NAME	IBM Digital Analytics においてベンダー・コードのグループに割り当てられる名前。	String(256)
3	CHANNEL_TYPE	チャンネル名に割り当てられるチャンネル・タイプ。使用される可能性があるのは、有料 (Paid)、所有 (Owned)、無料 (Earned)、またはカテゴリーなし (Uncategorized) です。	String(256)

注: デジタル・データ・フィードのエクスポートは、ZIP64 ビット圧縮形式を使用して圧縮されます。したがって、ZIP64 フォーマットをサポートしている ZIP ツールを使用する必要があります。

必要な構成情報をすべて入力したら、「**サブミット**」をクリックし、Digital Data Feed の日次処理をアクティブにします。日次処理をアクティブにすると、新規作成された Digital Data Feed は、「統合」画面で Digital Analytics フッターに組み込まれます。フィードは、ダブルクリックするといつでも編集できます。

検索データ・フィードの作成

検索データ・フィードは、マーケティング・プログラム売上数、帰因売上数、および注文データを検索マーケティング・パートナーに配信します。

このタスクについて

使用可能な指標には、同一訪問帰因の中の売上数および注文数の指標の他に、Digital Analytics で定義されている任意の帰因ウィンドウが含まれます。

手順

1. 「**検索データ・フィード**」アイコンを Export の「**統合**」フレームにドラッグします。
2. 以下の情報を入力します。
 - a) フィールド名:
検索データ・フィードに付ける適切な名前。
 - b) E メール通知リスト:
Export エクスポートの日次処理の状況に関する通知を受け取る個人の E メール・アドレス。
 - c) 頻度:
検索データ・フィードは、毎日定期的に行うようにスケジュールすることができます。また、Export フィードをスケジュールする前にこのフィードを検討する必要がある場合には、1 日だけのサイト・アクティビティーで 1 回限りのテストをエクスポート・ベースで実行することもできます。
 - d) SFTP ターゲット:
Digital Analytics が Export フィードを送信する宛先のファイル・サーバー。「**SFTP ターゲット**」ドロップダウン・メニューには、組織内でユーザーがそれ以前に作成したすべてのターゲットが表示されます。Export ファイルの送信先がまだ指定されていないロケーションである場合には、「**作成**」をクリックします。
3. 「**使用可能な表示列**」および「**使用可能な指標**」のデータ・フィールドを選択するために、それらのデータ・フィールドを「**使用可能なフィールド**」リストから「**選択したフィールド**」リストにドラッグします。
4. 「**作成**」をクリックします。

検索データ・フィールド・ファイルの詳細

検索データ・フィールド・ファイルには、以下の生データが含まれています。

リストされているフィールド位置は、Export 検索データ・フィールド構成 UI に表示される順序で示されています。

フィールド位置	フィールド名	説明	形式
1	パートナー ID の検索* 注: 追加の帰因ウィンドウ・ライセンスがある場合、「帰因ウィンドウ・ロジック "N"」により示されるように、それらの売上および注文の指標が選択できます。"N" は追加の帰因ウィンドウの任意の番号を示します。	クライアントにより cm_mmcp に指定された URL パラメーター。	String(256)
2	マーケティング・アイテム	クライアントによりマーケティング・リンクに指定された 4 つの MMC パラメーターの 4 番目。	String(256)
3	マーケティング・プレースメント	クライアントによりマーケティング・リンクに指定された 4 つの MMC パラメーターの 3 番目。	String(256)
4	マーケティング・ベンダー	クライアントによりマーケティング・リンクに指定された 4 つの MMC パラメーターの 1 番目。	String(256)
5	マーケティング・カテゴリー	クライアントによりマーケティング・リンクに指定された 4 つの MMC パラメーターの 2 番目。	String(256)
6	売上	指定されたマーケティング・プログラムの同一訪問帰因指標。	Float
7	注文数	指定されたマーケティング・プログラムの同一訪問帰因指標。	Float
8	売上帰因ウィンドウ #1	指定されたマーケティング・プログラムの売上帰因ウィンドウ・ロジック 1 指標。	Float
9	注文数帰因ウィンドウ #1	指定されたマーケティング・プログラムの注文数帰因ウィンドウ・ロジック 1 指標。	Float
10	売上帰因ウィンドウ #2	指定されたマーケティング・プログラムの売上帰因ウィンドウ・ロジック 2 指標。	Float
11	注文数帰因ウィンドウ #2	指定されたマーケティング・プログラムの注文数・帰因ウィンドウ・ロジック 2 指標。	Float
12	売上帰因ウィンドウ #3	指定されたマーケティング・プログラムの売上帰因ウィンドウ・ロジック 3 指標。	Float
13	注文数帰因ウィンドウ #3	指定されたマーケティング・プログラムの注文数・帰因ウィンドウ・ロジック 3 指標。	Float
14	売上帰因ウィンドウ #N	指定されたマーケティング・プログラムの売上帰因ウィンドウ・ロジック "N" 指標。	Float
15	注文数帰因ウィンドウ #N	指定されたマーケティング・プログラムの売上帰因ウィンドウ・ロジック "N" 指標。	Float

注: 追加の帰因ウィンドウ・ライセンスがある場合、「帰因ウィンドウ・ロジック "N"」により示されるように、売上および注文の指標が選択できます。"N" は追加の帰因ウィンドウの番号を示します。

検索データ・フィード指標列見出しの値

検索データ・フィードからの出力ファイルは、指標列見出しを使用してデータ値を表します。

列見出しは以下の形式に従います。MetricName#attributionwindow_direction_click

例: ORDERS#30_B_2 は注文数指標で、30 日の帰因ウィンドウ、後方参照、最初のクリックを表します。

の後のそれぞれの値については、以下にリストされたオプションを参照してください。

帰因ウィンドウ

帰因ウィンドウに指定した日数 (1-120)。

方向

帰因データが前方参照 (**F**) か後方参照 (**B**) かを示します。

クリック

1 = 最後のクリック

2 = 最初のクリック

3 = 平均

「管理」メニュー

Export の「管理」メニューでは、データ・エクスポートのモニター、および Export で作成した Export セグメントの管理を行うことができます。「管理」メニューには、4 つのセクションがあります。

セグメントの管理

Export のカスタム・エクスポートの作成プロセスでセグメントを管理できるほか、Export の「管理」>「セグメント」画面からもセグメントを管理 (作成、編集、削除、または Unica Campaign にパブリッシュ) できます。

セグメント・カテゴリーを選択して、対象セグメントを検索します。次に、操作を選択します。「**新規セグメントを作成**」をクリックすると、新規セグメントを作成できます。このセグメントは、新規フィードの構成時または既存フィードの編集時に選択しないかぎり、既存の Export のエクスポートに適用することができません。「セグメント」テーブルをソートするには、列見出しをクリックします。

フィード管理

「フィード管理」ページでは、エクスポートの状態の確認、最終実行状況の確認、またはエクスポートの編集を行うことができます。

「フィード管理」ページには、現行のすべての Export データ・ジョブに関連したさまざまな情報を表示するテーブルがあります。「フィード管理」テーブルでは、作成した Export ジョブごとに以下の情報を提供します。

フィード名

エクスポートに付ける適切な名前。

フィード・タイプ

Export フィードのタイプ (ベスト・プラクティス、パートナー、カスタムなど)。

SFTP ターゲット名

設定されたスケジュールに基づいて Export ファイルが配信される先の SFTP ターゲットの名前。

E メール ID

管理者が選択した Export ジョブに関する通知を受け取るために、Export ジョブの作成者が指定した E メール・アドレス。

最後の実行日

Export ジョブが前回処理された日付。Export ジョブがアクティブでない場合、「最終実行日」には「**未開始**」と表示されます。

最終実行状況

Export ジョブの前回の実行が正常に完了したかどうかを示します。Export ジョブがアクティブでない場合、「最終実行状況」には「**未開始**」と表示されます。

状況

Export ジョブがアクティブになっているかどうか (通常処理時)、または Export ジョブが停止したかどうかを表示します。

操作

各 Export ジョブでは、そのジョブの現在の状態に基づいてさまざまな操作がサポートされます。すべての Export ジョブは、鉛筆アイコン (✎) をクリックすると編集でき、削除アイコン (✕) をクリックすると削除できます。停止アイコン (●) をクリックすると、通常処理中のアクティブな Export を停止でき、開始アイコン (▶) をクリックすると、停止した Export を開始できます。

注: テーブルをソートするには、列見出しをクリックします。

SFTP 管理

「SFTP 管理」ページは、Digital Analytics によって Export のエクスポートを配信する際の宛先となる SFTP ターゲットを指定するために使用します。

Export SFTP ターゲットと Import SFTP ターゲットの両方を「SFTP 管理」ページから作成できます。Export SFTP ターゲットでは、Export のエクスポートを送信する宛先のロケーションを指定します。

「SFTP 管理」テーブルでは、作成する SFTP ターゲットごとに以下の情報を提供します。

インポート/エクスポート (ターゲット・タイプ)

作成された SFTP ターゲットのタイプ。

ディレクトリー

ターゲット用に指定された SFTP ディレクトリー。SFTP ターゲットの作成時にディレクトリーが指定されていない場合には、「デフォルト」と表示されます。

E メール ID

選択した SFTP ターゲットに送信されるエクスポートに関連する通知を受け取るための E メール・アドレス。

操作

それぞれの SFTP ターゲットに対してさまざまな操作がサポートされています。例えば、SFTP ターゲットを編集するには、鉛筆アイコン (✎) をクリックし、SFTP ターゲットを削除するには、削除アイコン (✕) をクリックします。テーブルをソートするには、列見出しをクリックします。

SFTP ターゲットを作成して保存すると、Export フィールドの作成時に、選択可能なターゲットの 1 つとして表示されます。SFTP ターゲットを作成するときには、その SFTP ターゲットに以下の情報を指定します。

SFTP ターゲット名 (必須)

ターゲットに付ける適切な名前。この名前は、Export ジョブの作成時に、選択が可能な項目として表示されます。

SFTP サーバー・アドレス (必須)

SFTP サーバーの IP アドレスまたは URL アドレス。

ディレクトリー名 (オプション)

Digital Analytics によって接続し、エクスポート・ファイルの書き込み先にする、SFTP ターゲット上のディレクトリー。このフィールドを空白のままにした場合には、SFTP ターゲットのデフォルト・ディレクトリーが使用されます。

SFTP ポート (必須)

SFTP ターゲットのポート番号。

ユーザー (必須)

SFTP サーバーへの認証に使用するユーザー・アカウント。

パスワード (必須)

SFTP サーバーへの認証に使用するユーザー・アカウントのパスワード。

E メール (オプション)

SFTP ターゲットに送信される Export のすべてのエクスポートに関する通知を受け取るユーザーの E メール・アドレスのリスト。

SFTP サーバーの必須構成データをすべて入力したら、「**SFTP をテスト**」をクリックして、指定した情報がすべて正確であることを確認します。そうすることで、Digital Analytics によって Export のエクスポートを正常にターゲットに書き込むことが可能になります。確認した結果として問題がなかったら、「**サブミット**」をクリックして、SFTP ターゲットを保存し、Export のどのエクスポートでも使用できるようにするためにパブリッシュします。

SFTP ターゲットの作成

新規の SFTP ターゲットを作成します。

手順

1. サイド・ナビゲーションで、「**管理**」をクリックします。
2. 「**SFTP 管理**」をクリックします。
3. 「**エクスポート SFTP ターゲットを作成**」をクリックします。
4. SFTP ターゲットのパラメーターを追加します。
5. 「**SFTP をテスト**」をクリックします。
6. SFTP をテストした結果としてエラーが発生した場合には、[13 ページの『SFTP ターゲットのホーム・ディレクトリーの要件』](#)を参照してください。
7. SFTP をテストした結果としてエラーが発生しなかった場合には、「**サブミット**」をクリックします。

FTP ターゲットを SFTP 用に変換する

IBM は、非セキュア・データ伝送を段階的に廃止しており、今後は新規の FTP ターゲットの作成をサポートしません。既存の FTP ターゲットはすべて SFTP ターゲットに変換する必要があります。

手順

1. サイド・ナビゲーションで、「**管理**」をクリックします。
2. 「**SFTP 管理**」をクリックします。
3. FTP ターゲットの編集アイコンをクリックします。
4. FTP ターゲットのパラメーターを、必要に応じて SFTP ターゲットのパラメーターに変更します。
5. 「**SFTP をテスト**」をクリックします。
6. SFTP をテストした結果としてエラーが発生した場合には、[13 ページの『SFTP ターゲットのホーム・ディレクトリーの要件』](#)を参照してください。
7. SFTP をテストした結果としてエラーが発生しなかった場合には、「**サブミット**」をクリックします。

SFTP ターゲットのホーム・ディレクトリーの要件

「SFTP をテスト」または「サブミット」をクリックしたときにエラーが発生した場合には、SFTP ターゲットのディレクトリーが正しく構成されていることを確認してください。

SFTP ターゲットは、以下の条件を満たすように構成する必要があります。

- SFTP ホストは、パブリック・ネットワーク上で使用可能になっている必要があります。これがパブリック・ネットワーク上で使用可能になっている場合には、Digital Analytics Export サーバーをブロックしていないことを確認します。
- SFTP ターゲット内で定義したユーザーは、ホーム・ディレクトリー内での書き込み権限と削除権限を所有している必要があります。

IBM Digital Analytics デジタル・データ・フィード

IBM Digital Analytics Digital Data Feed を使用すると、データウェアハウスを運用するために毎日カスタマイズされている分析データを抽出できます。

Digital Data Feed では圧縮ファイルが生成され、それが SFTP によって送信されます。以下のデータ・ファイルを含めることができます。

小売、コンテンツ、コマース	金融	旅行
---------------	----	----

カート・アイテム 放棄	申し込みの放棄	アイテムの放棄
カート・アイテム 追加	申し込みの追加	開始アイテム
カート・アイテム 購入	申し込みの完了	予約アイテム
コンバージョン・イベント	コンバージョン・イベント	コンバージョン・イベント
エレメント	エレメント	エレメント
地域	地域	地域
マーケティング・チャンネル	マーケティング・チャンネル	マーケティング・チャンネル
MMC クリック	MMC クリック	MMC クリック
MMC インプレッション	MMC インプレッション	MMC インプレッション
注文	申し込み	予約
ページ・ビュー	ページ・ビュー	ページ・ビュー
プロダクト・ビュー	申し込みビュー	アイテム・ビュー
リアル・エステート・クリック	リアル・エステート・クリック	リアル・エステート・クリック
登録	申込者	予約者
訪問の最初のページ・ビュー	訪問の最初のページ・ビュー	訪問の最初のページ・ビュー
サイト・プロモーション・クリック	サイト・プロモーション・クリック	サイト・プロモーション・クリック
テクニカル・プロパティ	テクニカル・プロパティ	テクニカル・プロパティ
妥当性検査	妥当性検査	妥当性検査

デジタル・データ・フィードを構成するには、以下の手順を実行してください。

1. デジタル・データ・フィードへのアクセス権限を持つユーザー・ロールを追加します。
2. デジタル・データ・フィードを構成します。
3. フィードを管理します。

デジタル・データ・フィード・ファイルの詳細

デジタル・データ・フィード・ファイルには、以下の生データが含まれています。

表 2: カート・アイテム放棄。訪問者の訪問中にショッピング・カートには追加されたが、購入されなかったアイテム。

フィールド位置	データ	説明	形式
1	SESSION_ID	放棄アイテムがあった訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	放棄アイテムを含む Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	PRODUCT_ID	プロダクトを示すのに使用される ID の値。	String(256)
5	PRODUCT_NAME	カート内のプロダクトの名前。	String(256)
6	PRODUCT_CATEGORY	プロダクトをグループ化するカテゴリ階層の中の選択されたカテゴリ。	String
7	PRODUCT_CATEGORY_ID	選択されたカテゴリの固有 ID。	String(256)
8	PRODUCT_CATEGORY_TOP	階層の最上位カテゴリ。	String(256)

表 2: カート・アイテム放棄. 訪問者の訪問中にショッピング・カートには追加されたが、購入されなかったアイテム。(続く)			
フィールド位置	データ	説明	形式
9	PRODUCT_CATEGORY_BOTTOM	階層の最下位カテゴリ。	String(256)
10	BASE_PRICE	プロダクトの価格。	Float
11	QUANTITY	カート内のそのプロダクトの数量。	Number(8)
12	ORDER_ID	放棄アイテムがあった注文の固有 ID。	String(64)
13	SITE_ID	放棄アイテムがあったサイトの 固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)
14-63	<ABANDONMENT_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore 放棄属性。 別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 3: カート・アイテム追加. 購入にかかわらず、訪問者によってショッピング・カートに追加されたアイテム。			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	追加アイテムがあった訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	追加アイテムを含む Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	PRODUCT_ID	プロダクトを示すのに使用される ID の値。	String(256)
5	PRODUCT_NAME	カート内のプロダクトの名前。	String(256)
6	PRODUCT_CATEGORY	プロダクトをグループ化するカテゴリの階層から。	String
7	PRODUCT_CATEGORY_ID	プロダクト・カテゴリの固有 ID。	String(256)
8	PRODUCT_CATEGORY_TOP	階層の最上位カテゴリ。	String(256)
9	PRODUCT_CATEGORY_BOTTOM	階層の最下位カテゴリ。	String(256)
10	BASE_PRICE	プロダクトの価格。	Float
11	QUANTITY	カートに追加されたプロダクトの数量。	Number(8)
12	ORDER_ID	注文の固有 ID。	String(64)
13	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)
14-63	<CART_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore カート属性。 別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 4: カート・アイテム購入. 訪問者の訪問中にカートに入れられ、購入されたアイテムについての詳細。			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	購入済みアイテムがあった訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	購入済みアイテムを含む Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	PRODUCT_ID	プロダクトを示すのに使用される ID の値。	String(256)
5	PRODUCT_NAME	カート内のプロダクトの名前。	String(256)
6	PRODUCT_CATEGORY	プロダクトをグループ化するカテゴリの階層から。	String
7	PRODUCT_CATEGORY_ID	階層内の修正されたカテゴリ。	String(256)
8	PRODUCT_CATEGORY_TOP	階層の最上位カテゴリ。	String(256)
9	PRODUCT_CATEGORY_BOTTOM	階層の最下位カテゴリ。	String(256)
10	BASE_PRICE	プロダクトの価格。	Float
11	QUANTITY	購入済みアイテムの数量。	Number(8)
12	ORDER_ID	注文の固有 ID。	String(64)
13	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)

表 4: カート・アイテム購入、訪問者の訪問中にカートに入れられ、購入されたアイテムについての詳細。(続く)

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
14-63	<PURCHASE_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore 購入属性。別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 5: コンバージョン・イベント. コンバージョン・イベントとは、非商業的なビジネス目標です。コンバージョン・イベントは、ダウンロード、登録、申し込み、ストア・ロケター・ビューなど、訪問者に行ってもらいたい非金銭的なアクションです。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	コンバージョン・イベントがあった訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	コンバージョン・イベントを含む Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	EVENT_NAME	訪問者によって完了されたイベントに割り当てられた名前。	String(256)
5	EVENT_CATEGORY	イベントのカテゴリ。	String(256)
6	EVENT_ACTION_TYPE	実行されたイベント・アクションのタイプを、「開始」または「完了」で示します。	Number(2)
7	EVENT_POINTS	イベント・ポイントの総数。開始 = 1、完了 = 2。	Number(22)
8	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)
9-58	<CONVERSION_EVENT_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore コンバージョン・イベント属性。別名が存在すれば、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 6: エlement・ファイル. 従来のページ・ビューのコンポーネント。Element は一般的に、ポートレット、オンライン・ビデオ、Web 2.0 対話などを追跡するために使用されます。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	ELEMENT_NAME	訪問者によって完了された Element に割り当てられた名前。	String(50)
5	ELEMENT_CATEGORY	Element のカテゴリ。	String(50)
6	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)
7-56	<ELEMENT_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore Element 属性。別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 7: 地域. 訪問者の地域特性。地理位置情報マッピングを使用して、ユーザーの IP アドレスから詳細を判定します。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	IP_ADDRESS	デバイスの IP アドレス。	String(256)
4	CITY	訪問者の都市。	String(150)
5	STATE	訪問者の都道府県。	String(150)
6	COUNTRY	訪問者の国。	String(150)
7	DMA	訪問者の定義済みの市場地域。	String(150)
8	SECOND_LEVEL_DOMAIN	.us や .uk などの第 2 レベル・ドメイン。	String(512)

表 8: マーケティング・チャネル. まとめて追跡する類似ベンダーのグループ。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	VENDOR_CODE	タグ内の MMC パラメーターで渡されるベンダー。	String(256)

表 8: マーケティング・チャネル. まとめて追跡する類似ベンダーのグループ。(続く)

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
2	CHANNEL_NAME	IBM Digital Analytics においてベンダー・コードのグループに割り当てられる名前。	String(256)
3	CHANNEL_TYPE	チャネル名に割り当てられるチャネル・タイプ。使用される可能性があるのは、有料 (Paid)、所有 (Owned)、無料 (Earned)、またはカテゴリーなし (Uncategorized) です。	String(256)

表 9: MMC クリック. マーケティング・プログラム (cm_mmc) パラメーターを使用した ページ・ビューの回数。このパラメーターは、特定のマーケティング・プログラムからクリックされたことを示します。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	MARKETING_VENDOR	マーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・ベンダー。	String(256)
5	MARKETING_CATEGORY	マーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・カテゴリー。	String(256)
6	MARKETING_PLACEMENT	マーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・プレースメント。	String(256)
7	MARKETING_ITEM	マーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・アイテム。	String(256)
8	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)
9-58	<MMC_CLICK_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore MMC クリック属性。別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 10: MMC インプレッション. プロモーションの表示 (それがクリックされたかどうかは無関係)。
注: MMC インプレッション・ファイル中の VISITOR_AD_IMPRESSION_ID は、インプレッション属性ソリューション・モジュールで使用される、オフサイトの Cookie ID の値に対応しています。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	VISITOR_AD_IMPRESSION_ID	プロモーションを表示した訪問者の固有 ID。	Number(30)
2	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
3	MARKETING_VENDOR	インプレッション用のマーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・ベンダー。	String(256)
4	MARKETING_CATEGORY	インプレッション用のマーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・カテゴリー。	String(256)
5	MARKETING_PLACEMENT	インプレッション用のマーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・プレースメント。	String(256)
6	MARKETING_ITEM	インプレッション用のマーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・アイテム。	String(256)
7	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)
8-57	<IMPRESSION_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore インプレッション属性。別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 11: 注文. 発行された注文。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	注文に至った訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	注文に至った Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS

表 11: 注文. 発行された注文。(続く)			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
4	ORDER_ID	注文の固有 ID。	String(64)
5	REGISTRATION_ID	登録の固有 ID。	String(256)
6	ORDER_TOTAL	注文の合計コスト。	Float
7	SHIPPING	注文の送料。	Float
8	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)
9-58	<ORDER_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore 注文属性。 別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 12: ページ・ビュー. ページが表示された回数とそのビューの詳細。			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	ページ・ビューがあった訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	ページ・ビューを含む Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	PAGE	ビューがあったページ。	String(256)
5	PAGE_ID	ビューがあったページの固有 ID。	String(256)
6	CONTENT_CATEGORY	コンテンツをグループ化するカテゴリーの階層から。	String
7	CONTENT_CATEGORY_ID	コンテンツ・カテゴリーの固有 ID。	String(256)
8	CONTENT_CATEGORY_TOP	階層の最上位カテゴリー。	String(256)
9	CONTENT_CATEGORY_BOTTOM	階層の最下位カテゴリー。	String(256)
10	ON_SITE_SEARCH_TERM	オンライン検索で送信された検索条件。	String(256)
11	PAGE_URL	ページの URL。	String(1024)
12	PAGE_REFERRAL_URL	ページの参照元 URL。	String(1024)
13	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)
14-63	<PAGE_VIEW_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore ページ・ビュー属性。 別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)
64	SEARCH_RESULTS_COUNT	サイト内検索用語が入力された場合、返された 1 ページあたりのサイト内検索結果の数に関連する数値を入れる。	Number(8)

表 13: プロダクト・ビュー. プロダクト詳細ページ (またはそのページを含むカテゴリー) の表示。			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	プロダクト・ビューがあった訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	プロダクト・ビューを含む Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	PRODUCT_NAME	カート内のプロダクトの名前。	String(256)
5	PRODUCT_ID	プロダクトを示すのに使用される ID の値。	String(256)
6	PAGE_ID	プロダクト・ビューがあったページの固有 ID。	String(256)
7	PRODUCT_CATEGORY_ID	階層内のカテゴリーの固有 ID。	String(256)
8	PRODUCT_CATEGORY	プロダクトをグループ化するカテゴリーの階層から。	String
9	PRODUCT_CATEGORY_TOP	階層の最上位カテゴリー。	String(256)
10	PRODUCT_CATEGORY_BOTTOM	階層の最下位カテゴリー。	String(256)
11	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)

表 13: プロダクト・ビュー. プロダクト詳細ページ (またはそのページを含むカテゴリ) の表示. (続く)

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
12-61	<PRODUCT_VIEW_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore プロダクト・ビュー属性。別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(256) (属性 1 個あたり)

表 14: リアル・エステート・クリック. リアル・エステート・パラメーターを使用したページ・ビューがあった訪問を示します。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	REAL_ESTATE_PAGE	リアル・エステート・パラメーター (cm_re) を使用したページ。	String(256)
5	REAL_ESTATE_VERSION	使用された、定義済みのリアル・エステート・パラメーターのバージョン。	String(256)
6	REAL_ESTATE_PAGE_AREA	表示された、定義済みのリアル・エステート領域を示します。	String(256)
7	REAL_ESTATE_LINK	クリック・イベントで使用されたリンク。	String(256)
8	SITE_ID	サイトの固有 ID。IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)

表 15: 登録. 訪問者の登録に至った訪問の詳細。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	登録が行われた訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	登録を含む Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	REGISTRATION_ID	登録の固有 ID。	String(256)
4	NEW_REPEAT_BUYER	訪問者がリピート購入者であるかどうかを示します。	String(1)
5	NEW_REPEAT_VISITOR	訪問者がリピート訪問者であるかどうかを示します。	String(1)
6	VISITOR_CUSTOMER_FLAG	値は "C" (顧客) または "V" (訪問者)。	String(1)
7	REGISTERED_CITY	登録した訪問者の都市。	String(256)
8	REGISTERED_STATE	登録した訪問者の都道府県。	String(256)
9	REGISTERED_COUNTRY	登録した訪問者の国。	String(256)
10	REGISTERED_ZIP_CODE	登録した訪問者の郵便番号。	String(256)
11	GENDER	登録した訪問者の性別。	String(1)
12	EMAIL_ADDRESS	登録した訪問者の E メール・アドレス。	String(256)
13	AGE	登録した訪問者の年齢。	Number
14-63	<REGISTRATION_ATTRIBUTE_1-50>	別途構成されたその他の Explore 登録属性。別名を使用する構成の場合は、それが使用される。このフィールドは、収集されるデータの有無にかかわらず含まれる。	String(100) (属性 1 個あたり)
64	LAST_UPDATE_DATE	訪問中、訪問者に関して最後に取り込まれた登録更新に対応する タイム・スタンプを入れる。	Date(YYYY-MM-DD HR24:MI:SS)

表 16: 訪問の最初のページ・ビュー (クリック・ストリーム). レポート作成者の開始ページまたは終了ページからユーザーによってナビゲートされたページ・シーケンスの先頭。

フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	FIRST_TIMESTAMP	訪問が初めての訪問者に関する場合、このフィールドにはその訪問に関連する タイム・スタンプが含まれる。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS

表 16: 訪問の最初のページ・ビュー (クリック・ストリーム). レポート作成者の開始ページまたは終了ページからユーザーによってナビゲートされたページ・シーケンスの先頭。(続く)			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
4	FIRST_REFERRING_URL	訪問が初めての訪問者に関する場合、このフィールドにはこのサイトを訪問した訪問者の参照元 URL が含まれる。	String(1024)
5	FIRST_DESTINATION_URL	訪問が初めての訪問者に関する場合、このフィールドには訪問を開始した URL が含まれる。	String(1024)
6	FIRST_REFERRAL_TYPE	訪問が初めての訪問者に関する場合、このフィールドにはクリック・ストリーム内の参照の種類が含まれる。	String(1)
7	IP_ADDRESS	デバイスの IP アドレス。	String(256)
8	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
9	REFERRAL_NAME	クリック・ストリーム内の参照の名前。	String(100)
10	REFERRAL_URL	クリック・ストリーム内の参照元 URL。	String(1024)
11	REFERRAL_TYPE	クリック・ストリーム内の参照のタイプ。	String(1)
12	NATURAL_SEARCH_TERM	使用された検索用語を示します (該当する場合)。	String(256)
13	DESTINATION_URL	クリック・ストリーム内の宛先。	String(1024)
14	USER_AGENT	訪問者のブラウザからコンテンツを要求しているシステムへ提供されるさまざまな自己識別情報。	String(256)
15	SEARCH_ENGINE	クリック・ストリーム内の使用された検索エンジン (該当する場合)。	String(100)
16	MARKETING_VENDOR	マーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・ベンダー (該当する場合)。	String(256)
17	MARKETING_CATEGORY	マーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・カテゴリー (該当する場合)。	String(256)
18	MARKETING_PLACEMENT	マーケティング・プログラムで収集されたマーケティング・プレースメント (該当する場合)。	String(256)
19	MARKETING_ITEM	マーケティング・プログラムで収集されたアイテム (該当する場合)。	String(256)
20	VISITOR_AD_IMPRESSION_ID	オフサイト Cookie ID の値。	Number(30)

表 17: サイト・プロモーション・クリック. サイト・プロモーション・パラメーターを使用したページ・ビューがあった訪問を示します。			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	訪問の固有 ID。	Number(38)
2	COOKIE_ID	Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	SITE_PROMOTION_TYPE	サイト・プロモーションの種類。	String(256)
5	SITE_PROMOTION_PROMO	訪問イベントに至ったプロモーション。	String(256)
6	SITE_PROMOTION_LINK	クリックに至ったサイト・プロモーションで使用されたリンク。	String(256)
7	SITE_PROMOTION_PAGE	クリックに至ったサイト・プロモーションで使用されたページ。	String(256)
8	SITE_ID	サイトの固有 ID。 IBM Digital Analytics Multisite にのみ該当。	String(100)

表 18: テクニカル・プロパティ. 訪問者のデバイスからの訪問レベル情報。			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
1	SESSION_ID	訪問の固有 ID。	Number(38)

表 18: テクニカル・プロパティ. 訪問者のデバイスからの訪問レベル情報。(続く)			
フィールド位置	データ	説明	フィールド形式
2	COOKIE_ID	Cookie の固有 ID。	Number(30)
3	TIMESTAMP	データ収集時刻。	Date YYYY-MM-DD HR24:MI:SS
4	BROWSER_TYPE	デバイスで使用されているブラウザを示します。	
5	JAVASCRIPT_VERSION	デバイスによってサポートされている JavaScript バージョンを示します。	String(30)
6	LANGUAGE	デバイスの地域の言語を示します。	String(100)
7	SCREEN_RESOLUTION	デバイスのディスプレイの画面解像度を示します。	String(30)
8	COLOR_DEPTH	デバイスのディスプレイの色解像度を示します。	String(30)
9	OPERATING_SYSTEM	デバイス上で稼働しているオペレーティング・システムを示します。	
10	TIME_ZONE	デバイスのタイム・ゾーンを示します。	String(30)
11	MOBILE_NETWORK	デバイスのモバイル・ネットワークが適用可能であることを示します。	
12	CONNECTION_TYPE	デバイスの接続のタイプを示します。	
13	CONNECTION_SPEED	デバイスの接続速度を示します。	
14	IS_MOBILE_DEVICE	モバイル・デバイスであるかどうかを示します。	String(1)
15	MOBILE_DEVICE	モバイル・デバイスであるかどうかを示します。	String(100)
16	DEVICE_MARKETING_NAME	それがモバイル・デバイスである場合、デバイスの市場での名称を示します。	String(100)
17	DEVICE_MODEL	それがモバイル・デバイスである場合、デバイス・モデルを示します。	String(30)
18	DEVICE_TYPE	それがモバイル・デバイスである場合、デバイス・タイプを示します。	String(30)
19	DEVICE_VENDOR	それがモバイル・デバイスである場合、デバイス・ベンダーを示します。	String(100)
20	COOKIE_SUPPORT	それがモバイル・デバイスである場合、デバイスが Cookie をサポートするかどうかを示します。	String(1)
21	FLASH_SUPPORT	それがモバイル・デバイスである場合、デバイスが Adobe Flash をサポートするかどうかを示します。	String(1)
22	TOUCH_SCREEN	それがモバイル・デバイスである場合、デバイスがタッチスクリーンを装備しているかどうかを示します。	String(1)
23	VIDEO_3GP_SUPPORT	それがモバイル・デバイスである場合、デバイスが 3GP Video をサポートするかどうかを示します。	String(1)
24	VIDEO_MP4_SUPPORT	それがモバイル・デバイスである場合、デバイスが MPEG-4 Video をサポートするかどうかを示します。	String(1)
25	VIDEO_WMV_SUPPORT	それがモバイル・デバイスである場合、デバイスが Windows Media Video をサポートするかどうかを示します。	String(1)
26	JAVA_ENABLED	訪問中に使用されたブラウザで JavaScript が有効になっているかどうかを示す。	String(1)

Export のよくある質問

以下に紹介するのは、よくある質問に対する回答です。

Q: Export のエクスポートはいくつまでセットアップできますか?

A: デフォルトでは、ユーザーは最大 10 個の繰り返し Export エクスポートを同時にアクティブにできます。これより多くのフィールドにアクセスする必要がある場合は、Digital Analytics アカウント・チームまでお問い合わせください。

A: 1 度にアクティブにできるデジタル・データ・フィードは 1 つだけです。

Q: 自社製のツールや、社内管理の E メール/データベース・ツールを使用しています。Digital Analytics には、IT/DB マーケティング・チームが Export データ・フィードを社内に組み込むプロセスを詳しく調べる際に役立つ技術資料はありますか？

A: もちろんです。 <http://support.coremetrics.com/> で、Export アプリケーションの詳細な技術仕様を検索できます (Export Data Specification で検索)。

Q: 現在使用している「プロダクト」や「ページ」などの属性を、Export でセグメンテーションのために使用できますか？

A: はい、できます。お客様の組織でタグまたはデータ・インポート・ファイルを使用して送信しているすべての属性データは、Export でターゲット訪問者セグメントを作成するために使用できます。Export ユーザー・インターフェースで表示する前に、属性データの別名を作成する必要があります。

Q: データ分析期間の 1 日が終了し次の 1 日が始まる時、Digital Analytics の切れ目はいつですか？

A: 深夜 12 時にセッションの切れ目を設定しています。そのため、ユーザーが 9 月 28 日の 23:50 にプロダクトをショッピング・カートに入れ、9 月 29 日の 00:03 に購入した場合、これは、9 月 28 日のフィードには「放棄済み」としてリストされます。

Q: Digital Analytics が「アクション/アクティビティーの時刻」として参照するのは、どのタイム・ゾーンですか？

A: データ収集およびアクティビティーのタイム・スタンプはすべて、アカウント設定によって定義されるお客様の組織のタイム・ゾーンに基づいています。サイト訪問者のタイム・ゾーンは一切考慮されません。

Q: MMCImpression.txt の一部の行で VISITOR_AD_IMPRESSION_ID として "1000000000000001" という値が表示されるのはなぜでしょうか？

A: "1000000000000001" という値は匿名インプレッションを表します。匿名インプレッションは、インプレッションが生成されたが Cookie が設定されなかったときに発生します。一般的にこの値が生成されるのは、訪問者がサード・パーティーの Cookie をブロックしている場合です。

Q: Standard Data Export (SDE) に比べて DDF ではより多くの注文が表示されるのはなぜですか？ 最近のタイム・スタンプの付いた比較的古い注文が表示されます。

A: DDF が 48 時間のウィンドウに含まれる注文の重複を排除するのに対して、SDE は完全な注文履歴に基づいて注文の重複を排除します。

Q: Standard Data Export (SDE) と DDF の間でサイト内検索文字列に違いが見られるのはなぜですか？

A: DDF は、厳密なページ・ビュー・タグを受け取ります。SDE は、訪問ごとにサイト内検索語の 1 つのコピーを保持します。

Q: PRODUCT_CATEGORY フィールドおよび CONTENT_CATEGORY フィールドにはなぜフィールド長が表示されないのですか？

A: PRODUCT_CATEGORY フィールドおよび CONTENT_CATEGORY フィールドには、両方とも定義済みカテゴリーの階層が表示されます。DDF は、カテゴリー階層を連結して単一のフィールドに含めます。定義されているコンテンツ・カテゴリーまたはプロダクト・カテゴリーの数に応じて、このフィールド長はサイズの範囲となることができます。

登録データは顧客レコード・フィードでどのように渡されますか？

登録データが顧客レコード・フィードで送信される際には、登録 ID が訪問タグ内に存在していた場合のみ、レコードに登録 ID が含まれます。

その他の連絡先情報

製品の改善に関するご意見は、IBM (cm_feedback@us.ibm.com) にご連絡ください。

製品に関して支援が必要な場合は、IBM お客様サポート・センター (<https://support.ibmcloud.com>) にお問い合わせください。

また、お近くの IBM 営業所にご連絡いただくこともできます。

米国

<p>IBM 1001 E Hillsdale Boulevard Foster City, CA 94402 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673</p>	<p>IBM Austin 11501 Burnet Road Building 905, Floor 2 Austin, TX 78758-3400 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673</p>
<p>IBM Dallas 750 W John Carpenter Freeway Irving, TX 75039 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673</p>	
ヨーロッパ	
<p>IBM United Kingdom Limited 3 Furzeground Way Stockley Park Uxbridge Middlesex UB11 1EZ U.K. 電話: 020 8867 8003</p>	<p>IBM GmbH Beim Strohhause 17 D-20097 Hamburg Germany 電話: 0800-180-2597</p>
<p>IBM France 17 Avenue de l'Europe 92275 Bois Colombes Cedex France 電話: 0800 91 4912</p>	
アジア太平洋	
<p>IBM Hong Kong Limited Silvercord Tower 2 Room 907 30, Canton Road Tsim Sha Tsui Kowloon Hong Kong SAR, China 電話: +852 8201 0823 FAX: +852 8201 0832</p>	<p>IBM Australia and New Zealand 60 Southgate Ave Southgate VIC 3006 Australia (オーストラリア) 1800 69 CORE (ニュージーランド) 0800 69 CORE</p>

IBM お客様のご意見をお寄せください

ご意見は以下の住所にお送りください。

IBM Bay Area Lab
1001 E Hillsdale Boulevard
Foster City, California 94404
USA

以下に示す方法のいずれかによって、電子的にご意見をお寄せいただくことができます。

フリー・ダイヤル
1+866-493-2673

サポート・センター:

<https://support.ibmcloud.com>

World Wide Web:

www.ibm.com/marketing-solutions/

ご意見またはコメントには以下の情報を必ず記載してください。

- 本書のタイトル
- ご意見に関連するページ番号またはトピック

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

サポート

サポート・センター

サポート・サイトには、<https://support.ibmcloud.com> からアクセスできます。また、アプリケーション・メニュー・バーにある「サポート」リンクをクリックしてアクセスすることもできます。

サポート・センターのサイトには、以下が含まれています。

- **検索可能な知識ベース:** 質問に対する回答を得たり、基本的な資料 (実装ガイド、指標用語集、ユーザー・ガイド、リリース・ノートなど) に簡単にアクセスしたりできます。
- **研修ツール:** Web ベースのトレーニングやアーカイブ済みのオンライン・セミナーなど。
- **マーケティング情報:** ケース・スタディー、ホワイト・ペーパー、および今後のイベント (クライアント・サミットなど) が含まれています。
- **通知:** サポートからの通知です。
- **問題のトラッキング:** チケットの作成からその問題の解決までを追跡し、お客様のお問い合わせ状況を詳細に把握できるようにします。
- **フィードバック:** サポート・サイトの改善に関するお客様からのご提案を受け付けています。(アプリケーションに関するフィードバックを、cm_feedback@us.ibm.com までお寄せください)。
- **チャット:** IBM のベスト・プラクティス担当者がすぐに対応します。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス 渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119
Armonk, NY 10504-1785 US

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いか

なる保証も提供されません。IBMは、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

© Copyright IBM Corp. 2017 . All rights reserved.

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用される条件

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

商業的使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入 関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けません。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』（<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>）の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。

